



# 7月の予定

月主題 月のねがい

2026年6月  
野毛山幼稚園

今月の聖句

探しなさい。そうすれば、見つかる。

マタイによる福音書7章7節

今月の聖書の言葉はイエスさまが山の上で群衆にお話しされた言葉です。「求めなさい。そうすれば与えられる。探しなさい。そうすれば見つかる。門をたたきなさい。そうすれば開かれる」と前後にはそうあり、聞いたことがある方もおられるのではないのでしょうか。ちょうど1年前にも、この箇所が月の聖句となっていました。私たちは自分が求めることはすべてかなえられるようにと願います。しかし、神さまに願えばすべてがかなえられるということではありません。ここで、「自分から求めていく心」「探していく努力」「門をたたき行動」が大切なのではないのでしょうか。人生は良いことばかりではなく、祈ったことがすべてそのまま応えられるわけではありません。けれども、そこから神さまの御心を知ることが大切です。私たちのことを愛し、私たちが必要なものをご存知な神さまは、人知でははかり知ることのできない良いものを用意してくださるのです。

大きなことをしようとして  
力を与えてほしいと神さまに求めたのに、  
慎み深く、従順であるようにと弱さをいただいた。  
より偉大なことができるように健康を求めたのに、  
よりよいことができるように病弱をあたえられた。  
幸せになろうとして富を求めたのに  
賢くあるようにと貧しさをいただいた。  
世の人々に誉められようとして権力を求めたのに、  
神の前にひざまずくようにと弱さを授かった。  
人生を楽しもうとあらゆるものを求めたのに、  
あらゆることを喜べるようにと命をいただいた。  
求めたものは一つとして与えられなかったが、  
願いはすべて聞き届けられた。  
神さまの意にそわぬ者であるにもかかわらず、  
心の中の言い表せない祈りはすべてかなえられた。  
私はあらゆる人の中で  
最も豊かに祝福されたのだ  
《ニューヨーク大学「ハビリテーション研究所」の  
壁に刻まれている詩》

主題	年少もも組	年中ばら・年長くるみ組
あrawして (年少)	喜びや感謝を賛美して、イエスさまを身近に感じる	友だちや保育者とともに賛美や祈りの心地よさや喜びを共有する
おもしろい (年中長)	友だちや保育者に嬉しい・楽しい・悲しい・嫌だなどの様々な気持ちを言葉や表情・態度であrawし、受けとめられる経験を重ねる  水が気持ちの良い季節に思いきり水遊びを楽しむことや、朝夕の涼しい時間を選んで木陰で遊ぶ	友だちと発見する喜びを共感し、伝え合い、自分たちで考えることや発見すること、試行錯誤することをおもしろいと感じる  水や砂・土・泥の感触を楽しむことや性質に関心をもち、全身を使って思いきり遊ぶ

## 予 定

日	曜	予 定	備 考
1	水	創立記念感謝礼拝(年長くるみ組)	9時20分全園児14時降園
2	木	創立記念感謝礼拝 (年中ばら組、年少もも組)	9時20分 年長くるみ組11時30分降園 年中ばら・年少もも組礼拝終了後降園
3	金	創立記念日	
8	水	7月誕生会	
17	金	8月誕生会	11時30分降園
20	月	海の日	休園
22	水	第一学期終業式	9時20分 礼拝堂
24	金	夏まつり	16時~18時45分頃 詳細後日 雨天の場合 翌25日(土)

2日(木) こひつじはありません



年 少(もも組)	年 中(ばら組)	年 長(くるみ組)
保育者や友だちと一緒に遊ぶ中で安心感をもつ。	好きな場所で安定して遊ぶ。	外で遊び、心地よさを感じる。
夏の生活の仕方を知る。	簡単なルールのある遊びに参加し、先生や友だちと一緒に楽しむ。	これまでのあそびに変化をつけたり、工夫して友だちとのあそびを楽しむ。
たくさん遊んだら、静かに休む。	たくさん遊んだら、静かに休む。	たなばたを通して、天体や宇宙に興味・関心を持つ。
自分でできることは自分でやろうとする。	絵本や紙芝居に親しむ。	ルールを守って遊ぶこと、ゲームすることの楽しさを知る。
絵本や紙芝居に親しむ。	動植物の世話をする。	発見したことや思ったことを先生や友だちに伝える。
夏に関する本を読んだり、話を聞いたりする。	夏に関する本を読んだり、話を聞いたりする。	楽しく踊ったりしながら、自分たちの思ったように表現する。
平和について身近なことから考える。	生活リズムを身につける。	わからないことや、不思議に思ったことを調べる。
水を使って楽しく遊ぶ。	水を使って楽しく遊ぶ。	水を使って楽しく遊ぶ。
生活リズムを身につける。	平和について身近なことから考える。	絵本や紙芝居に親しむ。
		身につけてきた生活習慣をすすんでできるようにする。
		平和について身近なことから考える。

